

2020年度総会の中止について

東京鰐陵会会長 佐藤 悠(37回生)

2020年度の東京鰐陵会総会を中止します。総会の中止は史上初めてです。

新型コロナウイルスの感染拡大は一旦収束に向い“経済を取り戻す動き”が続いています。

しかし、全国的に感染が再燃し急拡大。秋から冬にかけてはさらに感染拡大の可能性が想定されています。

総会で感染者を出す事態は避けなければなりません。熟慮の末の決断です。

会員の皆さまのご理解をよろしくお願い申し上げます。

第28回 東京鰐陵会総会開催される
(令和元年11月10日)東京鰐陵会第28回総会・会長挨拶
効率的な会の運営に
ご協力を

東京鰐陵会会長 佐藤 悠(37回生)



には鰐陵同窓会本部から青木利光会長、二階堂守宏事務局長、顧問の神成浩志校長先生に、おいでいただきました。青木会長と神成校長先生には懇親会の時

をいただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本日は総会の第1部で役員の改選や会則の改訂、会計報告などを予定しています。第2部の講演では関東ラグビー協会理事の46回生・伊藤隆さんに「ラグビーワールドカップ日本大会」などラグビーをさせていただきます。

皆さんこんにちは。会長の37回生、佐藤悠です。この秋は台風と大雨で甚大な被害が出ましたが、皆さんのところは大事なかったでしょうか。被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。本日は125人の皆様にご参加をいただき、誠にありがとうございます。会長に就任して丁度、2年になります。皆様には会の運営に関してご指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。この場を借りて御礼を申し上げます。28回目を迎えた今日の総会

第3部の懇親会は米寿、喜寿を迎えられた出席会員の紹介と記念品贈呈のあと、1時間「歓談タイム」を用意しています。同期生同士をはじめ先輩・後輩、部活の仲間な

ど時間が許す限り語り語らうただければと思います。

それから皆様には既に目を通していたかと思えますが、今回の会報誌17号からA4版・カラー、冊子形式に様式を一新いたしました。カラー写真によって、より臨場感が増した総会の様子や雰囲気を感じ取っていただければ幸いです。

このように会報誌の様式を変えた最大の理由は、財政的な問題です。当会では、広告の掲載はなし、会費の徴収もせずに、皆さんからの援助金を運営資金として活動を続けています。

しかし、会報誌発行の経費負担が大きいことから、今回のような形で会報誌を見直した結果、経費を50%近く削減することができました。

皆さんからの資金援助は、前回は169人の方々から36万9千円にのほりました。今回は、未だ集計が出来ていませんが、本日現在、130人から38万円2千円の資金援助をいただいています。ありがとうございます。執行部としては皆さんからの資金援助と経費削減の努力を更に重ね

ながら、より効率的な会の運営に努めて参りたいと思えますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

当会では、若手会員の獲得に努めており、いろいろな試みを行っています。例えば今年の本部同窓会総会の主管を務めた65回生の皆さんに総会后、入会の勧誘を行い新たに4人の方に会員登録をしていただきました。この試みは今年3回目で、しばらくは継続していきたいと思っています。

最も確実なのは、現在行っている当番幹事回生を順次、若い年代にシフトしていつてそこで把握している同期生の情報を拡大していく方法です。今年の当番幹事回生は43回生です。早くからお手伝いをお願いしています。皆さん、お疲れ様です。

石巻の白謙蒲鉾店提供の『笹かまぼこ』と会で購入した宮城の銘酒『一ノ蔵』のしぼりたてを各テーブルに提供します。ふる里の味をご賞味下さい。

最後まで楽しく過ごしたいと思えます。本日はご出席ありがとうございます。

来賓ご挨拶

総会開催と新会報誌の発行を祝す

鰐陵同窓会会長 青木利光(43回生)



巻との地理的要因も大きいのでしようが、なかなか会員が増えず先が見えませんが、

そこで本日出席の皆さんにお願いがあります。就職や転勤、引越など何

か東海鰐陵会に有益な情報があれば、事務局長の39回生、佐々木孝行さんに一報をお願いします。

仙台は非常に若手の会員が増えています。ちなみに今年60回生以降の参加者が59人ほどいました。ですから東海鰐陵会とは、かなり雰囲気の違いです。是非、東京にも、そうやっていただきたいと思っています。

さて、今年は非常に感心したことがあります。それは東京鰐陵会の「新会報誌」です。新しい会報誌は8月の本部総会の時にいただいたのですが、



非常に見やすく、写真もカラーでとてもいいと思いました。白黒だと、ぼやけて分からない部分もありますが、カラーは非常に見やすい。各回生の写真も皆さんの表情をみていますと、これが鰐陵の同窓会だなあと感じた次第です。何より感服したのは、特別寄稿の素晴らしいことです。31回生の奥山先輩の「長崎原爆体験者の講演会に学ぶ」は、東日本大震災の体験も踏

まえて、戦争や震災の記憶を後世に伝えることの大切さを改めて痛感しました。
 それから32回生の手代木先輩の「喜寿によせて」は、われわれが普段使っている携帯も手代木先輩がいなければ、ひよっとしたら使えなかったのではないかと感じさせられる内容でした。

やはり32回生の小林先輩の特別寄稿は、50年以上も前から取り組んでいた地球温暖化対策の研究の一端を紹介したもので、本当に誇れる先輩だなあと感じました。55回生・谷口氏の優れた寄稿も興味深いものでした。
 お願いがあります。実は昨年度の本部会計の会費収入が

一昨年度と比べて70万円余り減り100万円を割りました。是非、会費、寄付金でも構わないので皆さまのご協力をお願いしたいと思います。
 最後に、東京鰐陵会の益々の発展とお集まりの皆さまのご健勝、母校のラグビー部が単独でチームが組めることを祈念して挨拶に代えます。

でなく、多様な学びや取り組みを取り入れようと試みています。
 これまでも部活動は盛んで、毎年大きな成果を上げてきましたが、今年度も運動部・学芸部合わせて6団体が全国大会に出場しています。部活動で活躍している生徒は大舞台に立ち、様々な体験をして成長していますが、それ以外の生徒にも多くの体験をさせたいと考えました。
 一例を上げますと英語通訳ボランティアです。訪日外国人旅行者への通訳ガイドを依頼されましたので、希望者を募ったところ、38名が参加しました。私もどこまでできるか不安でしたが、生徒は通訳だけではなくガイドをしたり、会話を楽しんでいました。

けを目指すのではなく、大きく変わろうとしている未来社会に十分対応できる力をつけさせ、リーダーとして活躍できるような授業だけでなく様々なことに取り組むことで3年間の学校生活全般を通じて育てていきたいと考えています。
 本校も創立97年目となり、まもなく100周年を迎えます。これからも東京鰐陵会の皆様に本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

来賓ご挨拶 未来社会に対応できる人材育成を

宮城県石巻高等学校校長 神成浩志

ただ今、紹介いただきました神成浩志と申します。どうぞ、よろしく願います。どうぞ、東京鰐陵会総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

本日ここに第28回東京鰐陵会総会が多数の参加のもと、盛大に開催されますこと、お慶び申し上げます。これまで同窓会の各支部にも参加させていただきましたが、同窓生の母校に対する

いっております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。さて、私の役目として学校の様子をお伝えしたいところですが、近況報告の資料を作りましたので、詳しくは後で見てくださいとして、ひとつだけお話しします。

もちろん、大学進学に向けての指導も強化しています。昨年度末の国公立大学の現役合格者が74名でしたので、今年度は少しでも増えるよう、3年生は、ラストスパートをかけています。
 本校は、大学に入ることだ

結びになりましたが、東京鰐陵会のみならずの発展と、本日の総会が実りあるものとなることを祈念申し上げます。挨拶とします。本日はおめでとうございます。



熱い思いを感じることができました。また、多くの同窓生の皆様により、本校の教育活動に対しまして物心両面にわたりご支援・ご協力をいただき

今年度の新入生は、3月の後期選抜の出願倍率が0.85となり、1学年の定員240名に対し、216名となりました。本校は大学進学に向けて勉強ばかりさせられるというイメージがあるようです。そこで今年度は進学指導だけ

もちろん、大学進学に向けての指導も強化しています。昨年度末の国公立大学の現役合格者が74名でしたので、今年度は少しでも増えるよう、3年生は、ラストスパートをかけています。
 本校は、大学に入ることだ



特別講演

ラグビー概況

伊藤 隆 (46回生)

ラグビーワールドカップ 2019が9月20日から11月2日まで日本で初めて開催され大成功を収めました。

今日は高校から社会人までラグビー選手として活動し、現在も関東ラグビー協会の理事としてラグビーに関わっている立場から、ラグビーワールドカップ日本大会の総括とラグビーとオリンピックとの関係、更には「ラグビーの本質とは何か」についてお話し、ラグビーに対する理解を深めていただければと思います。

初めにラグビーワールドカップ2019についてお話しします。



①概況(メディア情報より)

*40日間で45試合(3試合は台風で中止)

*チケット販売数…184万枚(99%)

*パブリックビューイング観客数…113万人

*海外からの来日観客数…40万人

*経済効果…4300億円

テレビの視聴率は39%

日本対スコットランドは、瞬間視聴率53%を記録しました。

また各国から多くのVIPが来日。決勝戦後、英国のヘンリー王子が南アフリカとイングランド両チームのロッカールームを訪れ、両方の健闘に謝辞を伝えました。

「おもてなし」に代表される日本の国民性と日本国民のラグビーへの関心の高さは、海外メディアを通じて世界に発信され、世界ラグビー協会のバーモント会長が「過去最高の大会」と称賛した大会になりました。

②日本チーム予選リーグの結果

果及び決勝トーナメントの結果

《予選リーグ》

日本チームは、予選初戦のロシア戦では先取点を許すものの、ワンチームの結束のもとに危なげなく逆転勝利をおさめ、最終戦のスコットランド戦では、スピード、展開だけでなくフォワード戦でも圧倒し、4戦を全勝で勝ち抜き悲願の決勝トーナメント進出をはたしました。

【日本】30対10【ロシア】

【日本】19対12【アイルランド】

【日本】38対19【サモア】

【日本】28対21【スコットランド】

《決勝トーナメント準々決勝》

【日本】3対26【南アフリカ】

《3・4位決定戦》

【ニュージールランド】40対17

《ウェールズ》

《決勝戦》

【南アフリカ】32対12【イングランド】

③日本代表チーム大活躍の要因

①フィジカル(体格&パワー)

外国チームのコンタクトプレーに負けないプレーが継続出来るようになった。

②セットプレー(スクラム&ラインアウト)

今まで外国チームに対し

て不利だったスクラム、ラインアウト、モール、ラックも、フィジカルのアップによって互角以上に戦うことが可能になり、戦略、戦術の幅が大きくなった。

③オフロードパス(タックルを受けながらパスを通す)

オフロードパスの成功率が向上したことによって相手チームのプレーヤーを引き付けるプレーが継続でき、日本チームの持ち味であるスピード、展開が得点に結びついた。

④ダブルタックル(一人は下、もう一人は上にあるボールに)

相手の継続的な攻撃を許さなかった。

⑤自国開催

多くの国民の声が日本チームの闘争心を奮い立たせた。そして最も大きいことは大会直近1年間に250日の合宿を行い、外国出身選手と日本選手が本当の意味でオールジャパンというワンチームを確立できたことが最大の要因ではなかったかと考えています。

次に、ラグビーとオリンピックとの関係性についてお話しします。

(1)近代オリンピックの創設者

であるクーベルタンは、以下の3つの理由から英国のパブリックスクールに興味と関心を持ち渡英したといわれています。

①フランス全体がネルソン提督の英国艦隊に敗れてから沈滞ムードが数十年続いており、打開の道は教育しかないと考えたこと。

②精神(思考)と肉体の融合の機会を教育の場で活用したいと考えたが、方法論が判らなかつた。

③1815年のワテローの戦いの勝者である英国軍の将校たちが受けた教育に興味を持ったこと。英国軍将校のほとんどがパブリックスクール卒であった。

(2)パブリックスクール(ラグビー校)において道徳的観点から人格形成に主眼を置いた教育が行われていました。それは英国紳士(ジェントルマン)の養成であり、そのため日常的に放課後はラグビーが行われていました。そしてそのことからノブレス・オブリージュ(恵まれた環境に生まれた者はそれに応じた責任と義務がある)の精神が養われてい

きました。

(3) 初めに見るラグビーに魅了されたクーパーは、敵、味方15人が規律(ルール)の下に、激しくも整然と行われるゲーム。そこには、リーダーシップ、自己犠牲の精神、協調性が見事なほどに凝縮されています。

(4) クーパーは英国滞在を延長して自らラグビーをプレーし、更にはレフェリーの資格を取得して帰国。嫌英(反英)主義者から親英主義者に変化していきました。

(5) その後クーパーは、国際オリンピック委員会初代事務局長、第2代会長となり、自国開催の1900年パリ大会にラグビーを正式種目として採用しています。そしてパブリックスクールの教育方針、ラグビーから学んだアマチュアリズムをオリンピック憲章の根幹に据えることとなりました。

最後にラグビーの本質(ラグビー憲章)についてお話しします。

ラグビー憲章は次の5つ



ラグビー部OB

のキーワードで構成されます。

- ① INTEGRITY (品位)
- ② PASSION (情熱)
- ③ SOLIDARITY (結束)
- ④ DISCIPLINE (規律)
- ⑤ RESPECT (尊重)

そしてこのキーワードを常に意識しながら規律(ルール)を守り、レフェリーの判定結果を絶対として相手チームを尊敬し、常に紳士(ジェントルマン)として振る舞い正々堂々と応援、ONE FOR ALL, ALL FOR ONE の精神で、勝利を目指して戦うのです。

OBが演台に集いました。そして前号で紹介した首藤光春氏(30回生)作詞のラグビー賛歌とワールドカップ大会でお馴染みとなった「ビクトリーロード」を、木村長人氏(30回生)のサクソフォンの伴奏で大合唱。

決勝トーナメントに勝ち残った日本チームを讃える応援歌に、会場は大いに盛り上がりました。

〈プロフィール〉
伊藤隆(いと) たかし・46回生
1955年生まれ。石高時代からラグビー選手として頭角を現し、早稲田大学ラグビー部キャプテン。リコーでも活躍。元全日本フランカー(8キック)。現在、関東ラグビー協会理事。



木村長人氏



首藤光春氏

喜寿を迎えて…

在学中の思い出…二度の校舎火災に遭遇

木村貴則(33回生)

「喜寿」のお祝いの御礼の33回生代表挨拶

第28回総会にて「喜寿」のお祝いの記念品を戴きまして有難うございます。33回生の出席者3名(阿部倫夫、木村貴則、堀内文夫)を代表して御礼のご挨拶を申し上げます。

まずは、予想に反して出席者が少なかったことが残念です。我々33回生は、2年毎に同期会の総会を開催しておりますが、今年は昨年に引き続いて6月に松島で「喜寿の祝い」の臨時総会を開催しました。その時は、関東地区から5名が参加したのですが、その内の4名が今日は欠席となりまして、せっかくのお祝いの場を盛り上げられずすみませんでした。

我々が入学したのは昭和33年ですが、第1回目の火災は、この年の10月18日、午前3時頃に出火し、旧体育館、音楽室、各運動部部室、文芸部、物理部、化学部の各部室、階段教室、物理教室等の他、3年A、B、C、Dの4教室等東側校舎の1、754平方メートルを焼き、4時半頃鎮火した。損害額は2千万円を越す、と言う報道が「鰐陵」新聞第76号に記載されています。教室の焼失は3年生(31回生)の4教室だけだったので、授業は20日は臨時休校で、火災から3日後の21日から、柔道場、合併教室、美術教室、図書館の一部を利用して始められた、と書いてい

と云うと私には楽しい思い出は少なく、結構苦労して過ごした記憶が残っています。それは在学中に2度の校舎火災に出会いまして、授業環境が悪かったことの影響が効いている様です。

高校卒業後約60年が経つのですが、どう言う訳か高校時代の3年間の記憶は今でも鮮明です。活力に満ちていた年代と言うことなのでしょう。その3年間は、どちらか

ます。我々1年生(33回生)と2年生(32回生)は、図書館に行く校舎真ん中の通路の西側に有りましたので難を逃れました。この様子は「鰐陵」第76号に詳細が記述してありますのでコピー写真を添付します。

第2回目の火災は、翌年の1月20日、中校舎中央部より出火し1棟を失い、とあります。

中校舎には2年生(32回生)の教室が有りましたので、難を逃れた1年生の教室を2年生に明け渡し、我々1年



左から、阿部倫夫、木村貴則、堀内文夫の各氏

生はグラウンドの東側に有った体育館を間仕切りして作った仮設教室に入りました。机や椅子を仙台一高、宮城一女高から提供を受け、受け取りにトラックで向かった同期生が居りました。仮設教室には32回生が卒業するまで居りました。

この時の寄付に応じる目的で東京鰐陵会が発足したことになります。

火災原因は退学させられた学生の中の誰かの放火だと言う噂が有り当直の先生が目撃している噂まで流布されましたが、当時の校長先生の教育的配慮で犯人捜しは止めにすることを警察に要請したと言うことで、逮捕者はずりあやふやな幕引きとなりました。教育的配慮を言うならば、何で退学者を出す段階で配慮されなかったのだと言う雰囲気でした。そんな訳で、職員室や学校内部の空気はとげとげしており、多感な我々生徒も落ち着かない生活を過ごした思いがあります。そんな中で、生徒会長の改選選挙が行われ、32回生の手代木さんから、2年生の11月に私が会長を引き継ぐことになりました。1年間色々な苦労を経験して勤め上げて34回生にバトンタッチをしました。この生徒会運営では、前の年代まで生きていた運動会応援の区割りであった電通、汽車通(上り、下り)や市内4中学の出身者代表を執行部に取り込んで全地区連携を図りました。この時に

1回目の火災後に新校舎の再建計画が動き出し、鉄筋コンクリート3階建の新校舎は、昭和34年7月3日起工式で10月末に上棟式、35年1月末に完成し、当時の3年生(32回生)は新校舎の3階で2か月間だけ過ごし、我々は2年生時2階、3年生時は3階でと合計1年2か月を過ごしたことになります。新校舎の建物の予算は3千8百万円を県費で負担したが、設備費1千2百万円は出せないと言うことで、地元やPTA、同窓生の寄付を仰ぐことになり、生徒は月2000円を3年間積立で6百万円、同窓会寄付120万円等の明細が記してあります。

一緒に活動した仲間との交流が今も続いているのは鰐陵時代の大切な宝であり生涯大事に守り続ける積りです。

卒業年次の生徒の優劣は、東北大学入学者数の現役生の数で評価される風習が有りました。我々の学年では残念ながら医学部、工学部への現役入学者は居りませんでした。私も一浪して工学部に進みましたが、在学中の2度の校舎火災による劣悪な教育環境と教師の熱意の欠如が合格者減少の原因だと思っています。我々の卒業後には優秀な若い先生が出身大学に戻るとして石高を離れた現象が見られたのも校舎火災の影響と思っています。

しかし、この時の苦労した経験は、後になって会社勤めの中で業



『鰐陵』新聞 第76号

績不振の会社のリストラ再建を手掛けた時に役に立っているなど感じましたので、何が幸いするのか分からないものです。そんなところが石高在学中の思い出として残っています。現在の男女共学の華やかな印象の学園生活に触れるに付けて、当時の一徹な思い込みの生活が懐かしく思い出されます。

当番回生として 第28回東京鰐陵会総会を振り返って

43回生 伊藤純一・若山栄作

令和元年11月10日、奇しくも日程変更による天皇陛下即位パレードが催される日に、第28回東京鰐陵会総会を開催することが出来ました。

この上ない快晴に恵まれて、東海大学校友会館霞が関ビル35階、望星の間からの景色は素晴らしいの一言でした。総勢125名の皆さんが刷新された会報誌17号を手にする中、加藤友成事務局長（40回生）の司会で会はスタートし



当番幹事挨拶 43回生 伊藤純一さん

ました。
第1部の総会は、丹野静也副会長（37回生）の「開会の辞」で始まりました。

まず和泉耕二氏（38回生）の指揮により「校歌」を全員で斉唱。会員物故者に対し、黙祷を捧げた後、佐藤悠会長（37回生）が挨拶し、今回の講話や新会報誌の紹介を交えながら東京鰐陵会の運営に協力を呼びかけました。

議長に選出された境田憲男副会長（37回生）の進行で議事に入り、佐藤会長から役員改選と事務所所在地変更の会則改訂が提案されました。

加藤事務局長から「行事・会務報告」、新田輝夫事務局次長（42回生）から「会計報告」、堀内文夫監事（33回生）から監査報告が行われました。会員同伴者の参加費の件も含め、提案・報告は一括して承認され、第2部では日本で初めて開催されたラグビーワールドカップに因んで伊藤隆氏

（46回生）が、『ラグビー概況』と題して講演しました。伊藤氏は、現役時代は早稲田大学キャプテンや全日本代表選手として活躍、現在は関東ラグビー協会の理事を務めており、豊富な経験からの興味深い話を語りました。加えて、首藤

光春氏（30回生）作詞の「ラグビー賛歌」が、木村長人氏（30回生）のサククス演奏とともに披露され、ラグビーで盛り上がった令和元年に相応しい時間となりました。

第3部の懇親会は、司会進行が当番回生の若山栄作氏に代わりました。来賓の鰐陵会本部の青木利光会長（43回生）、二階堂守宏事務局長、石巻高等学校の神成浩志校長の3人が紹介され、青木会長と神成校長の挨拶がありました。祝電紹介の後、若手の56回生の佐藤信氏、星野知倫氏、59回生の佐藤昌克氏、62回生の成家新一氏、65回生の植村佳樹氏が紹介され、植村氏が

ら挨拶がありました。続いて、喜寿を迎えられた阿部倫夫氏、堀内文夫氏、木村貴則氏の3人に記念品が贈呈されました。

そして、24回生の佐藤允俊氏の乾杯により、歓談タイムに入りました。白謙蒲鉾店白出征三会長様のご厚意による笹かまを肴にして、人気の一ノ蔵の新酒「本醸造しほりたて」を味わいながら、話は弾みました。途中で今回初めての同伴者参加である高橋健樹氏の奥様が紹介されました。

司会の若山氏は後日談で「多くの方からお話をいただき、司会として時間が気になったが、熱のこもったお話を聞いているうちにその熱意に委ねる心地よさが生まれてきた」「会場を見渡すと誰もが鰐陵のこと、故郷のこと、友のことを語り合っているのだとひしひしと伝わってきた」と述べていました。

各テーブルごとの写真撮影の度に賑やかな声が弾み、監事の前会長、木村貴則氏と本部の二階堂事務局長による記念品販売も順調に進みました。会も押し迫り、当番回生の挨拶の後、紋付き袴姿の43回生吉田祐一氏が格調高く「高

砂」を謡い上げ、会場はお祝いムードに包まれました。恒例の42回生・鈴木卓郎氏の指揮による鰐陵歌と応援歌の斉唱を最後にして、次回当番幹事回生への引き継ぎを行い、44回生を代表して法被を手にした尾口仁志氏から力強く決意表明が行われました。監事の木村貴則氏から中締め挨拶があり、第28回総会は無事終了しました。

私も43回生は、この東京鰐陵会の幹事回生の習わしを今後に伝えるべく、そして、この会の下支えになることが出来れば、という思いで石巻からの和賀井啓之氏、本部会長の青木利光氏の協力も得て、総勢11名が集うことができました。課題は残るかもしれませんが、先輩方を始めとする参加されたすべての会員の皆様のご協力に感謝いたします。

若山氏は「仲間と居るということは有り難いものだと改めて感じた次第です」と述べています。同じ窓から同じ景色を見て育った私たち鰐陵一同がこの場でつながり続けることを祈念して報告とします。

各回生テーブル写真



19、24、25回生



御来賓、役員



29～31回生



27、28回生



36、37回生



33、34回生



38、39回生



37回生

各回生テーブル写真



41、44回生



40、42回生



45～47回生



43回生



歓談風景



48～65回生



歓談風景

会場風景写真



第3部司会 43回生 若山栄作さん



校歌斉唱



黙祷



当番幹事挨拶 43回生 伊藤純一さん



乾杯 24回生 佐藤允俊さん



若手会員の紹介



参加者代表挨拶 25回生 佐々木俊文さん



応援歌指揮 42回生 鈴木卓郎さん



当番幹事 43回生 吉田祐一さんの謡



中締め 33回生 木村貴則監事



次回当番幹事挨拶 44回生 尾口仁志さん



当番幹事回生引継

会長時代の感謝

木村莞爾(29回生)

「まあまあ、ひとつグツとやってくれ。ところでな、木村くん」当時の渡邊会長(24回生)の徳利から注がれた浦霞酒の一杯。

「ところでな、木村くん」に続く言葉が、突然東京鰐陵会の網に捕えられるきつかけでした。場所はネオンキラキラ新宿歌舞伎町のとば口、鰐陵先輩の皆さんもごひきだった「酒蔵樽一」の片隅のすすけた座卓をはさんだ席です。会長のとりの座布団には三宅さん(27回生)が胡坐で眠ったふりをしている場面を想像してください。

「東京鰐陵会の次の会長を頼みたいんだが」と切り出されました。すでに胃の腑を駆



け巡っている浦霞を、今さらはき出すわけにもいかず、返す言葉も思いつかないまま膝のうでこぶしを握り締めていただけでした。

「三宅君には今まで一人で切り盛りしてもらった。これ以上迷惑はかけられない。バックアップは当然してくれる。よろしく頼む」と。

これが東京鰐陵会の悩ましい網にからめとられ、2007年11月から会長という、恐れ多い場に立つ羽目になった次第なのです。ただ酒ほどこわいものは無しです。

渡邊会長から渡された会員用名簿の「筆まめ」CDには、1回生から67回生まで900人を超す名前と住所が記録されていました。その後、19回総会の準備をする時、本部同窓会名簿から関東圏在住者を拾って追加登録しましたが、結局、東京鰐陵会会員として合計約1,400人となり、受け継いだ名簿はそれなりに精度の高いものであるこ

とが分かりました。また、会の継続的行事としては隔年開催の総会と会報『東京鰐陵』の発行が従来から2本柱であり、これは変更なしで行うことにしました。

さっそくスタッフを選んで協力をお願いします。副会長に黒須忠君(29回生)、事務局には、局長に首藤光春君(30回生)をはじめ菊池清文君(同)、増子文人君(同)、櫻井政文君(41回生)など経験者を交えた陣容でスタートとなりました。

三宅さんには引き続き三宅デザインルーム内に名義上、事務局を置くことを了承していただき、さらに会報編集も含め、全体にわたってアドバイザー以上の役割として加わってくれました。会について知らないことはないという生き字引なのです。おっかない先輩からの苦情も、いつも防波堤になって助けてくれるありがたい存在でした。

とりあえずの初仕事というか、2007年1月の会報10号発行と、同年11月の第19回総会は、首藤君、増子君、菊池君の30回生トリオを中心に奮闘。この2件のイベントを

やり遂げてくれました。出足は、まずまず、といったところでしょう。

当時、会議としては運営状況の報告と総会事項の審議機関として、理事会をいただいた年に2回開催していました。事前に50人ほどの理事に案内状を送るのですが、私も慣れないワープロを操って、汗をかきかき準備したものです。

のちに、この理事会を補完するため構成人数の少ない運営委員会を新設、開く回数も増やしたので柔軟に機能して、よりきめ細かく意見交換や事務処理ができるようになりました。

こうして始まったあの頃を振り返ってみると、なんとか順調に運営できたと思えば、その第一の要素は運営委員会の皆さんの協力です。それも交通費もメシ代も出ない、いわゆる手弁当、ボランティアの参加なのです。実に奇特なことです。

それでも委員会が終ってからは、のどの渇きをいやす欲望を満たすため近くの居酒屋に連れ立って繰り込むのが、いつもの自然の成り行きでした。あまり飲めない三宅さん

はなぜか赤ワインばかり、イケる木村局長(2人目の事務局長)は日本酒、私は浮気のチャンポンと、みんなそれぞれ勝手な雰囲気、全員割りかんベースの清潔宴会で英気を養ったものです。このささやかな楽しみが運営委員会の原動力になっていたのかもしれない。

次には、2人目の事務局長になった木村貴則君(33回生)、今野勝幸君(29回生)の重要な働きについて報告しなくてはなりません。

理事会と運営委員会の関係は先に触れた通りですが、木村局長は煩雑さを厭わず、まず委員会を定例開催にして、会則の改訂、総会の準備作業の標準化、会場の設定等々、委員会をリードしてまとめてくれました。現在の会の基礎は、木村局長と運営委員会によってこの時期に固まったといえると思います。

私にはまた同期の29回生の心強い存在は外せません。今井寅三郎、岩渕茂、今野勝幸、千葉弘二の諸君です。普段も何かと付き合いはあるのですが、運営委員会にも名を連ねてくれました。「同期だべ、

バックアップすつから」のひとことのありがたさ！

なかでも今野勝幸君は東京鰐陵会の運営にとって格別の仕事をしてくれました。

あれは新体制が発足して間もない頃の理事会でした。会員向けの会報紙として前述の『東京鰐陵』がありました。理事からは発行回数をもっと増やせ、とかいろいろ改善案がでたりするうち、ホームページ開設の話に焦点が絞られました。その方面のことは詳しくない（早い話、何も知らない）私は、困ったなと思案投げ首でしたが、そこで今野君の登場です。あの淡々とした口ぶりで「俺がやってもいいよ」と、さらりと発言して決まり。そして見事に初めてのホームページを立ち上げました。

です。会則では、「運営は会員の負担及び篤志家の寄付金による」とありますが、なかなか思うようにカネは貯まらないので、その頃は会の台所はいつも乏しい状態でした。

運営が曲りなりにも円滑に推移した理由は、先に言ったように運営委員の皆さんの惜しまない協力と、それに加えて2つの要素、つまり会議場所の確保と通信手段の合理化がありました。

ひとつは人形町区民館など、中央区の施設が1回2千円程度で会議用に借りられる制度を知ってから場所探しに苦労がなくなったことが大きい。これで少人数の打ち合わせから運営委員会の開催も、いつでも予定できるようにになりました。それまでは三宅デザインルームを使わせてくれた三宅さんには迷惑をかけたばなしだったので。整理していない（ように見える）商売道具の書類・紙類が床も机の上も覆い、トイレにまで箱が積んである大切な事務所に、それこそ足の踏み場もないところに踏み込んで仕事でも相談に乗ってもらいました。いやな顔ひとつみせず、で

す。

もうひとつは、現在のスマホ世代の人には想像もつかないでしょうが、会も遅ればせながらITの世界から恩恵を受けつつありました。Eメールが運営委員同士の通信手段として当たり前になり、開催通知その他の連絡が非常に便利になったことです。

ここで、まだ生々しい記憶が残る2011年3月11日の東日本大震災のことを話さないわけにはいきません。現在も地元では復興事業の途上にある状況を思う時、また9年経っているのに、今でもあの時受けた衝撃は忘れられません。

震災直後さつそく、いつでも石巻地方に肉親や親戚などが多い委員ばかりですから、まだ身辺が落ち着く間もない3月22日、運営委員が急遽集合、義援金募集を決めて東京鰐陵会全員に通知することになりました。

案内文書の作成や送付、ホームページへの掲載など、この時も委員の皆さんの熱意と木村事務局長、今野委員の行動の早さに随分助けられました。集まった浄財570万

円は後で母校に直接手渡されることになりました。

募金中に気が付いたのは、いつも総会案内に出欠の回答もよこさず、名簿に残っているだけの会員から意外にも多くの寄付があったことです。これは委員みんなにとっても、うれしい驚きでした。東京鰐陵会の会員のいざという時の心意気は、やはり鰐陵生、さすが鰐陵生、と感銘を受けた

ことを特に強調しておきます。

会長職は2013年11月第22回総会で、33回生の木村貴則君に引き継ぎました。その後も献身的な後輩の皆さんによって順調に会が運営されているようです。いつも前向きで明るい鰐陵人たちと一緒に語らい、飲み、ラベル貼りで過ごしたあの時代は、私の懐かしい思い出として永く残ることでしょう。

特別寄稿 ②

関東三十六不動霊場の巡拝結願成就

今野勝幸（29回生）

関東三十六不動霊場の巡拝は、四国遍路や西国三十三観音巡りと同じように、日本伝統の巡礼の一つで、不動明王をお祀りする寺院を巡るものです。三十六ヶ寺の札所は、不動明王の眷属（※）である三十六童子がお護り

する尊像を巡拝の本尊としたことから定まったもので、各札所のお不動さまのご加護をいただけると同時に、三十六の童子の御利生（※）も授かることができるといふことです。

私が初めてご朱印をいただいたのは、平成15年5月5日、長野県の善光寺にお参りした時のことでした。

その年の11月、地元の西新井大師に参拝して2回目のご朱印をいただいた際、大師の坊さんから「不動明王」の説話を聞き、関



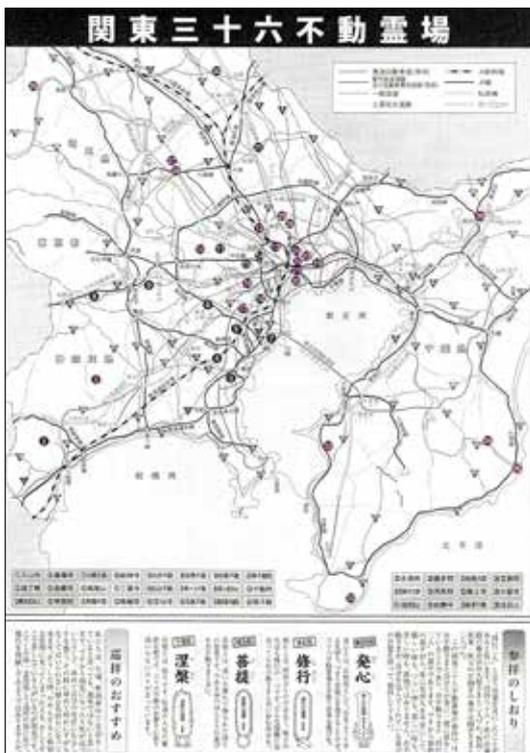
江戸36霊場道標

東三十六不動霊場」の巡拝を薦められました。

これがきっかけとなり「人生の中で何か一つのことを完結成就してみようか」と思い立ちました。初めは気軽に近場からと思い、取り組んで行きましたが、暇を見つながらの参拝は、なかなかキツイものがありました。

平成28年11月23日に道了尊・清瀧不動尊(第二番札所)、と大山寺・大山不動尊(第一番札所)で、13年半の歳月を要した巡拝に結願成就することができました。

巡拝の本尊である不動明王は、「お不動さま」と一般に親しまれる仏さまのお姿です。不動尊や無動尊なども称され、一心に祈る人々の願いを必ず叶えて下さる強い仏さまです。



お不動さまの荒々しいお姿は衆生を必ず救うという慈悲を表し、背後に轟々と燃え盛る炎は、お不動さまご自身が一切衆生の罪障煩惱を焼き尽くす火生三昧(※3)におられることを表しています。

右手の利剣は「智慧の剣」であると同時に、如何なる災いをも薙ぎ払う「降魔の剣」です。

こうした古来の意味のほかに、各地に祀られているお不動さまの尊像には、それぞれ独特の祈りや願いが籠められてきていますので、様々に異なる特徴や役割があります。

「仏説摩訶般若波羅蜜多心經」と「不動真言」ノウマク・サンマロシヤダ・ソワタヤ・ウンタラタ・

カンマンを唱えながらの巡拝。

この旅で各お寺の全てのご本尊を拝顔することはできませんでしたが、寺の資料などを基に調べてゆくと寺の成り立ちやお不動さんのかかわりなど、奥深いものを感じ取ることができました。

「関東三十六不動霊場」の中には「江戸五色不動尊」があります。

江戸時代、三代將軍徳川家光が府内五不動の因縁をもって江戸城守護のために、江戸城(青)を中心に東海道(黒)、中山道(赤)、日光街道(黄)、水戸街道(黄)、甲州街道(白)の5街道を

色分けし、目青不動明王(第16番教学院)を江戸の中心に置き、街道筋に近い寺で東海道には目黒不動明王(第18番瀧泉寺)、甲州街道に目白不動明王(第14番金乗院)、中山道に目赤不動尊(第13番南国寺)、日光街道に目黄不動尊(永久寺)、水戸街道に目黄不動尊(第19番最勝寺)の六ヶ寺



江戸五色不動尊



大山不動ご朱印

を色分けして江戸城の守護のためにおかれたと言われています。目黒と目白は、今でもその地名となつて残っています。

また、江戸三大不動としては「第21番薬研堀不動尊・目黒不動尊・目白不動尊」が古くから定義付けられていたようです。目白不動尊には変わった左の御臂(おんて)から霊火が燃え、仏身に満ち溢れたお姿の「断臂不動明王」(弘法大師作)が安置(秘仏)されています。

「関東三十六不動霊場」は神奈川県(発心の道場・7札所)、東京都(修行の道場・19札所)、埼玉県(菩提の道場・5札所)、千葉県(涅槃の道場・5札所)に点在しています。

(神奈川県) 第1番大山不動、第2番道了尊、第3番横浜田山、第4番真福寺、第5番金蔵寺、第6番神木不動尊、第7番川崎大師



神奈川県

(東京都) 第8番高尾山、第9番高幡不動尊、第10番慈持寺、第11番三寶寺、第12番南蔵院、第13番目赤不動尊、第14番目白不動尊、第15番宝仙寺、第16番目青不動尊、第17番等々力不動、第18番目黒不動尊、第19番目黄不動尊、第20番深川不動尊、第21番薬研堀不動院、第22番不動院、第23番橋場不動院、第24番飛不動尊、第25番皿沼不動、第26番西新井大師(埼玉県)、第27番川越成田山、第28番喜多院、第29番同昌院、第30番総願寺、第31番岩槻大師(千葉県)、第32番岩瀬不動尊、第33番高塚不動尊、第34番勝院、第35番大聖寺、第36番成田山。

順不動。

季節を問わずの巡拝は、お不動さんを奉る寺の個性あるご朱印をいただくたびに多くのことを学び、寺にまつわる歴史など知ることができ、一つのことをなし遂げることの厳しさ楽しさを、決して長くはない残りの人生のなかで喜びと感動を味わうことができました。

これからは、体調を見ながらお礼参りをしたいとも考えています。

- ※1 〔眷属〕血筋のつながった一族。
- ※2 〔御利益〕神仏から受ける恩恵。
- ※3 〔火生三昧〕不動明王が三昧（心が統一され安定した状態）に入って火焰を出し、その炎で悪魔を焼滅すること。



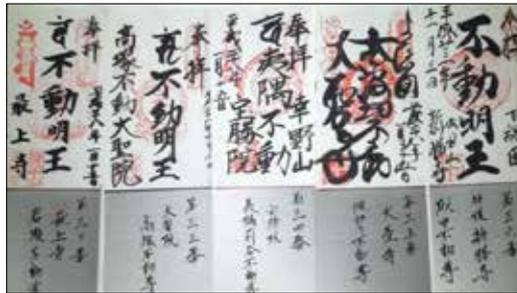
東京都-2



東京都-1



結願証と記念写真



千葉県



埼玉県

特別寄稿 ③

卒寿祝いの会に招かれて

元宮城県石巻高等学校教諭 三橋和正（38回生担任）

令和元年7月2日、馬齢を重ねて90歳になりました。

9月5日、石高で初めて3年の担任をした38回生の3Dの熊谷勝義君から便りがありました。

「11月10日、東京鰐陵会総会の懇親会終了後、午後4時から6時まで上野で卒寿祝いの会を、午後6時から8時まで場所を変えて二次会を予定しています。体調がよろし



復元された漱石山房書齋を目の前にして漱石に思いを馳せました。特別展「救い出された文学コレクション」Ⅱ 亘理町・江戸家資料の世界」が開催されていたので足を運ぶと、漱石関係資料や多くの文学者との交流を示す資料が展示されており、望外の幸せでした。

11月10日、午後4時近く、熊谷君が御徒町のホテルに迎えに来て会場に行くと、10名を

超える教え子が集まっています。阿部泰雄君が仙台から来てくれたので、感激一入でした。

祝いの会は熊谷君の司会で進み、卒寿を祝ってもらった、石高の思い出話をしたりして、楽しい一時を過ごしました。最後に寄せ書きと記念品をもらい写真を撮って終了しました。

場所を変えた二次会でも賑やかな時間を過ごし、午後8時頃閉会、一本締めで解散しました。熊谷君がホテルまで送ってくれました。熊谷君の至れり尽くせりのもてなしを受け感謝の気持ちで一杯です。

38回生の3Dの皆さんは、古稀を石巻で、米寿を浅草で、卒寿を上野で祝ってくれました。感謝の一語に尽きます。

11月11日、教師冥利に尽きる思いを抱いて東京を離れました。

※三橋和正（みつはしかずまさ）

昭和4年7月2日生まれ。千葉県習志野市出身。昭和31年、東北大学文学部国文科国語学科卒。香川県大手前中・高、東京明星学園中学校を経て昭和37年宮城県石巻高校に赴任。昭和48年宮城県石巻女子高校に転勤。平成2年同校を定年退職。現在、福岡県久留米市に在住。

東北の名門校の誇り 三宅哲(27回生)

大正12年(1923)開校の石巻中学校(現石巻高等学校)は、東北の名門校として知られていた。

学業だけではなく校風も注目されていて、例えば木造平屋建ての校舎の廊下は、生徒によって、いつもピカピカに磨かれていたという。

卒業生も富澤豁(慶應大教授、工学博士)、三宅正雄(東京高裁判事)、高橋英吉(彫刻家)、天津敏(俳優)、山形敏一(東北大学教授、医学博士)、扇谷正造(ジャーナリスト)、石母田正(歴史学者)、生江義



平成11年11月、第15回総会(全日空ホテル)で。第4代菅野会長(手前)と渡邊事務局長(第5代会長)

男(教育者、桐朋学園理事長)、橋本晶(郷土史家)と多士濟々だ。

後年焼失した母校の再建協力をきっかけに組織された東京鰐陵会の会長には、名門の名にふさわしい、それなり的人物を据えたいと考えたのも理解できなくはない。

第3代会長の高橋良さんが事務局長就任を打診されたとき、「私がごとき徒輩が名誉ある東京鰐陵会の事務局長など……」と言って固辞したエピソードは前回の「思い出③」で披露したが、旧制石巻中学

を卒業された先輩方の母校への思いと誇りは、我々新制高校卒業者の想像を超えたものがある。何事にも律儀な高橋良さんは、「会長役は若い者に早く渡せ」と

いう先輩の申し送りを守り、2期(4年)で辞めるつもりで4代目の会長候補を事務局員に検討させていた。良さんの下で事務局長をしていた22回生の吉田悦雄さんは温厚なお人柄で、教育関係の出版社に務める傍ら会計も含めた事務処理を引き受けておられた。前にも書いたが、当時の帳簿は複式簿記で、自称数字に弱い吉田さんは四苦八苦であった。会計を引き継いだ櫻井政文さん(41回生、現・東松島市市議)も苦勞することになったのだが……。

さて、4代目会長のことだが、これまでは事務局長を務めた者が次期会長になる、という慣例になっていたが、4代目についてはそうはならなかった。理由はいろいろあったが、一つには事務局員が常時集まれる場所を会長なり事務局員が確保できることが条件になっていたからだと思う。現在のようにならぬが、あればよかったのだが。結局4代目会長は、紆余曲折のすえ、21回生の菅野七三郎さん(旧姓遠藤)に決まった。「紆余曲折」というのは一部の先輩から「会長にはそれなりの肩書

を持った人物を」という意見があったためで、会長役を21回生にする案に異論はなかったものの、「それなりの肩書」を持った別の人物を推薦していた先輩たちがいたのである。この提案に事務局員は猛反対して、肩書がなくても積極的に事務局に顔を出して協力してくれる人を会長に、と懇願した。

高橋良会長は事務局員の要望を聞き入れて、「肩書」意見者を説得してくださった。事務局員には24回生の渡邊邦夫さん(旧姓菅原)が就いた。良さんとしてはこれが契機となって「誇り」を持ちつつ会の運営に協力してくれる鰐陵生が増えてくれればいいと思われたのだろう。

第4代会長に就任した菅野さんは、涌谷町で名の知られた遠藤家の出自で、目黒産業協会の副会長をなさっていた縁で、協会会館の一部屋を間借りして事務局を置くことになった。作業後、菅野さん行きつけの居酒屋でご馳走になったり、楽しい思い出も多いが、人が集まる場所としては都心から遠すぎた。つまるところ都心にあった三宅デザ

インルームが溜り場になって実質的な会の事務所として利用されることになった。

第5代会長は渡邊邦夫さんが引き継ぐことになったが、この時も様々な軋轢があったが、何とか諸先輩の同意を得ることができた。

会は相変わらず経済的な余裕がなく、渡邊会長が自らカバーすることが多々あった。渡邊さんには感謝しかないのだが、会を継続していくためには現状を変えなくてはならない、という思いは強くあった。これまでのような一部の人の厚意に甘え、また頼るような慣行を改め(勿論ご厚志は大歓迎だが)、合理的な運営方法を考える時期に来ていたと言えよう。渡邊会長と事務局は、次期6代目の会長候補に29回生の木村莞爾さん(当時全日空)を推薦して、後を託すことにした。

ちなみに渡邊さんたち24回生は旧制中学最後の学年である。名門校の同窓会、東京鰐陵会もようやく新制高校卒業生から会長が誕生しようとしていた。

(シリーズ 終)

鰐陵三三会「喜寿の祝い」と 第71回ゴルフコンペの開催報告

木村貴則(33回生)

鰐陵33回生は「三三会」と称して、おおむね2年毎に総会を開くことにしています。

平成30年6月30日に石巻市の「石もり」で総会を開いたのですが、今年我々は「喜寿」に当たりますので、「喜寿の祝い」の会を松島のホテル「大観荘」で令和元年6月11日に開催しました。その時の様子を写真で紹介します。総数20名の参加で少し寂しい人数ですが、その分密度の濃い集まりでした。

式次第を簡単に紹介すると、開会宣言、校歌斉唱、物故者への慰霊黙祷、会長挨拶(久保田齊氏)の後に、記念演奏として薩摩琵琶錦心流免許皆伝の木村東水(貴則)氏の「扇の的」が15分程度演奏されました。

その後前橋市から参加の今野秀克氏の音頭で乾杯を行い、歓談に入りました。しばらくして趣味披露で木村文穂氏が詩吟「故郷」を、全員参加の合唱を交えて吟じました。次



前列に東京鰐陵会から参加の5名が着席

いで参加者が順番に近況報告を行い、東京から参加の熊谷正茂氏の万歳三唱で中締めとしました。その後は幹事の部屋に移動しての二次会で遅くまで語り合いました。この様子を添付写真でご確認下さい。

翌日は朝食後解散で、改装なった松島瑞巖寺を参拝する方や松島チサンCCCでの第71回ゴルフコンペに参加する方に分られました。小生はゴ

ルフコンペに参加しましたが、今回は当日のキャンセルが出て、2組6名の参加者と少なかったのですが天候に恵まれて楽しく懇親を深めました。優勝の菊地純一氏と準優勝の千葉健司氏はグロス90の同じスコアでしたが、ハンデキヤップの差で勝敗を分けました。プレイ後の表彰式には、何時もながらの白謙蒲鉾店の「笹かまぼこ」バックが参加者に提供され、これを頂いて家路に着きました。

誠に楽しい2日間の行事でした。今回の東京鰐陵会からの参加者は、木村貴則、木村日出夫、熊谷正茂、今野秀克、阿部靖の5名でした。集合写真の前列に座っています。



二次会は久保田会長を囲んで遅くまで

喜寿の祝いの会 千葉保宗(34回生)

令和元年11月14日、一足早い喜寿の祝いを兼ねて、同期会が松島で開催されました。

平成17年に同期会が開かれたあと、東日本大震災があり地元石巻が未曾有の大被害にあい、同期生が多数亡くなり、住所録等の資料が流されてしまいました。

今回の開催に際し幹事の方々は、地元の同期生の安否や転居先の確認など大変苦労されたようです。

参加者は30名で地元石巻、仙台から25名、関東から4名、青森から1名でした。卒業以来60年ぶりで会った人もいて名前と顔が一致しないなど、最初は遠慮気味に話をしていましたが、

宴たけなわの頃には、永年のブランクが一挙に縮まり、高校時代に戻った感じでした。

宴会のあとカラオケ大会があり、翌日は希望者によるゴルフがありました。久しぶりの再会で旧交を温め、楽しいひと時を過ごすことができました。

次回の再会を約束して散会となりました。



東京鰐陵会 第3回オープンゴルフ コンペ開催される

千葉保宗(34回生)

第3回のオープンゴルフコンペが令和元年9月18日(水)東京五日市カントリークラブで開催されました。当初は5組20人の参加者を予定していましたが、最終的には3組9人で行う事になりました。

今年(今年)は天気不順で、当日は朝のうちは曇りで過ごしやすかったが、昼食後は小雨が降ったり止んだり、一時は傘をさすこともありましたが、何とか大降りにならずホールアウト出来ました。



今回も新ペリア方式で行いました。結果は、優勝は木村貴則(33回生)さん、2位は木村長人(30回生)さん、3位は久保文征(34回生)さんでした。

当初の計画では、会員からゴルフなら参加したいという意向が総会出欠返信の葉書やホームページに問い合わせがありましたので5組20人を予定していましたが、残念ながら3組の9人になりました。

第4回も来年の9月頃に開催するよ

うにとの希望が出されました。次回(次)は多くの方が参加して頂くよう早めに計画し、案内をしたいと思います。

《短信》 総会欠席者からの近況報告

①出身中学校 ②クラブ活動名 ③職業 現在または現役時代 ④趣味・特技 ⑤近況報告
〔20回生〜27回生〕
安住重一(20回生)

①大原小学校、旧制石巻中学校②剣道部③大型遠洋船長⑤90歳になりました。出席の予定でしたが都合で欠席します。皆様の健康と御幸福を祈る。

佐々木紀雄(21回生)

①旧制石巻中学校②バレーボール部③元公務員⑤体力に自信がなく欠席いたします。

阿部彦八(22回生)

①旧制石巻中学校②新聞、ラグビー、剣道部③全国酪農協連合会⑤ふるさと(遠くにありて…)云々、益々遠くなったよう。何となく寂寥の秋。御盛會を祈ります。

吉田正文(22回生)

①旧制石巻中学校②バスケット部⑤今年12月、米寿を迎えます。在京で健全な同級生は少なくなりました。(公財)の仕事、酒盛り、ゴルフを楽しんでいます。所用のため欠席します。盛會を祈ります。

鈴木善治(22回生)

①旧制石巻中学校②剣道、テニス部③元地方公務員④読書⑤いつも幹事さん方にはお世話になり感謝。老体がいよいよおぼつかなくなり欠席します。「新鰐陵」読み易くなり有難う。今後ともどうぞよろしく。祈り盛會。

亀山兵吉(23回生)

①旧制石巻中学校②サッカー部③

行政書士④囲碁、将棋、マージャン⑤参加は出来ませんが、諸兄の活躍を期待しています。「生きてる限り青春だ!!」で、まもなく米寿を迎えられそうです。

野中 浩(23回生)

①旧制石巻中学校②化学部③税理士④雑俳作り、カメラ弄り⑤期待していた小旅行2つ、度合なる凶暴颶風の為、雲散霧消。人生100年時代と謂われ、残り12年を如何に生くべきか、苦慮中です。所要あり、失礼します。来年は参加したい!

越後康夫(23回生)

①旧制石巻中学校⑤御盛會を祈ります。

田代善郎(23回生)

①旧制石巻中学校⑤ご盛會と各位のご健康を祈念いたしております。

古座明郎(24回生)

①旧制石巻中学校②野球部③商社④現在川崎交流センターで日本語授業担当⑤川崎市国際交流センターでボランティア、対外国人、日本語授業担当。梅雨冷、高温多湿で体力更に減退。同期前後の会員が同じテーブルに座るよりも旧制の中高時代のことを語りつなぐため若い世代との交流の座席を設けては如何。

玉河信也(24回生)

①旧制石巻中学校②陸上競技部③海運(日本郵船)⑤5月27日(月)同

期生4人(古座、高山、玉河、手塚)で、横浜で会合しました。小生相応に元気(過)しています。第28回総会の盛會をお祈りします。

高山研造(24回生)

①旧制石巻中学校③不動産鑑定士⑤体調不良につき欠席させていただきます。ご盛會を祈っております。

貝 啓(24回生)

①旧制石巻中学校②サッカー部③銀行④囲碁⑤ご盛會を祈ります。

手塚康二(24回生)

①旧制石巻中学校②化学部③現在無職、元三井海上火災保険(現三井住友海上火災保険)⑤年令86才となり、身体の耐用年数も過ぎ、故障だらけですが、年令相応には元気にしております。

石川正雄(24回生)

①旧制石巻中学校②図書部③商社④読書、音楽、麻雀⑤色鮮やかに姿を変えた、東京鰐陵に接し、大感激、一気に読了致しました。関係の皆様へ感謝致します。早速、デイサービスへ持込みました。絶賛の音が私の耳に快く響きました。ありがとうございます。会のご成功を祈っております。

水野浩記(25回生)

⑤ご盛會をお祈りします。体調すぐれず残念ですが欠席します。ご出席の皆様のご健康をお祈りします。

青沼義信(25回生)

①石巻中学校②生物部④写真⑤体調不良につき欠席します。残念です。会の盛會と、皆さんの健康を祈念して居ります。



旧校舎(1987年)

津田健三(旧姓・鈴木)(25回生)
 ①二俣中学校③製造業⑤いろいろ
 用事が重なっておりまして、出席
 出来かねます。

結城常明(25回生)

①石巻中学校②ヨット部⑤スポー
 ツ吹矢大会参加の為。

武山 勝(25回生)

①石巻中学校②人文科学部③会社
 員(化学会社)④仲間と古文書の
 解説をしています。⑤今月末より
 入院のため、欠席いたします。来
 月上旬には退院出来ると思います。
 盛会であることを!!

芳賀亥八男(26回生)

①前谷地中学校②柔道部③警視庁
 ④囲碁⑤会報誌がなよりの楽し
 みです。今はパソコン相手に囲碁
 三昧です。

崎野隆三(26回生)

①門脇中学校②軟式野球同好会③
 元立教大学アイスホッケー部監督
 ④スポーツ観戦⑤土、日は東伏見
 のアイスアリーナで学生の試合を
 観戦しています。

新田 敏(27回生)

①住吉中学校②新聞部③慶応義塾
 大学名誉教授⑤一応元氣です。ご
 盛会を祈ります。

徳江 明(27回生)

①石巻中学校②文芸部③行政書士
 ④カラオケ⑤ボランティアとして
 一人暮らしの高齢者への訪問見守
 り活動をしています。元気にいろ
 いろ話してくださいさる様子に接し、
 訪問のつど、ほっとしています。
 行政書士業務は、主に遺言・相続
 の相談に応じています。

庄司貞義(27回生)

①湊中学校②柔道部③社員(航
 空会社)⑤体調不良のため欠席致
 します。申し訳ありません。皆様
 の御健勝を御祈り申し上げます。

奥田貞幸(27回生)

①赤井中学校②卓球部④囲碁⑤1
 週間に2回程、囲碁同好会に参加
 する程度です。

大山重彦(27回生)

①野蒜中学校②テニス部③元小
 学校長、他教育関係④ゴルフ、ス
 キー指導員・検定員⑤神奈川県
 退職校長会長等、元気に過してい
 ます。幹事の皆様、いつもありが
 とうございます。

勝山 峻(28回生)

①門脇中学校②柔道部③無職④ナ
 シ⑤食道ガンの手術後、元氣ナシ。
 歩行困難。

木村誠厚(28回生)

①女川中学校⑤夏の台風では、さ

いわいに被害が少なくて済みまし
 た。体力おとろえながら何んとか
 毎日を過ごしています。

千葉慶胤(29回生)

①渡波中学校③化学会社④写真撮
 影⑤写真を趣味にしております。
 11月10日から14日まで所属の写真
 クラブの写真展(於神奈川県民セ
 ンター)があります。10日は初日
 に当り、飾り付けで席を外させま
 せん。大変残念で恐縮に存じますが、
 欠席させていただきます。

浅沼昭夫(29回生)

①住吉中学校⑤身体がだんだん重
 くなり、地球の重力を感じるよう
 になった今日この頃です。皆様の
 益々の御健勝を祈念します。

高橋伝四郎(29回生)

①十三浜、月浜中学校②文芸部⑤
 先約があり出席できません。未だ、
 ログハウス造りに励んでいます。

鈴木 勲(29回生)

①稲井中学校③生保業④詩吟・ゴ
 ルフ⑤体調不良の為欠席いたし
 ます。来年はぜひと念じています。
 幹事の皆様、ご苦勞様です。感謝。

鈴木幸義(29回生)

①前谷地中学校⑤地元の方々と楽
 しく暮らしています。病院とゴル
 フとスポーツ吹矢をしています。
 自治会の方も仲良くやっています。

小島守夫(30回生)

①広瀬中学校②生物部③農業技術
 ④山遊び⑤2018と2019

年に肺がん・直腸GISTで手
 術をしました。通常の日常生活
 を送っています。経年劣化であち
 こちが傷んで来ましたが、
 (小島様は令和2年ご逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈りいたします。)

島山 尚(30回生)

①石巻中学校②硬式野球部③製造
 業・品質管理④ゴルフ・写真⑤別
 途予定有、欠席とさせていただきます。
 ます。会のご盛会を祈念しており
 ます。

高橋 洋(30回生)

①中津山中学校③無職④ゴルフ・
 写真⑤脊柱管狭窄症の為、出席で
 きませんので、よろしく御願いま
 します。

松田勝治(30回生)

①石巻中学校②水泳部③総合ダム
 企画(株)、建設業コンサルタント④
 美術品蒐集⑤当日はすでに他の会
 合の集まりがあり、出席出来ませ
 ん。折角の案内状いただき申し訳
 ありません。くれぐれもよろしく
 御願いたします。

今野末治(30回生)

①住吉中学校②柔道部③社会保険
 労務士⑤盛会をお祈りいたします。

鈴木賀夫(30回生)

①浦谷中学校②音楽部④旅行・写
 真⑤写真と旅行が趣味となつて
 ます。マルタ島・キプロス島への
 旅行のため、総会は欠席致します。
 今月は鳥取へ3日間写真旅行、又
 那須茶臼岳に登りました。

寺澤正興(30回生)

①浦谷中学校②新聞部③社員④

ゴルフ⑤所用により欠席します。
 盛会を祈念します。

渡辺 武(30回生)

①中新田中学校②硬式野球部⑤残
 念ですが欠席とさせていただきます。
 皆様によりしく。

遠山日出夫(31回生)

⑤今回所用の為、欠席させて頂き
 ます。ご盛会を祈念してあります。

飯田勝紀(31回生)

①石巻中学校②剣道部⑤スモール
 ライフで家から離れることがめつ
 たにない生活をしてあります。

櫻井勝夫(31回生)

①鳴瀬第一中学校③顧問・不動産
 管理⑤週末、母校(専修大)のス
 ポーツ応援(野球・ラグビー・サツ
 カー等)に行つて元気をいただい
 ています。

木村照夫(31回生)

①女川第一中学校②新聞部③法律
 事務所、他④書道・日本画⑤傘寿
 となりました。仲良し同期の新聞
 部、そして1年F組の仲間、7名。
 1人も欠けずに会食、カラオケ、
 小旅行、ゴルフといつまでも楽し
 みたいものです。

阿部 弘(31回生)

①河南町鹿又中学校②軟式野球部
 ③住宅関連卸売業④現在はジム通
 い⑤都合により欠席いたします。
 会報誌毎回楽しみにしております。
 盛会を祈っております。

北川洋三(31回生)

①住吉中学校③鍼灸師④太極拳・
 気功⑤毎朝近くの公園で仲間達と
 太極拳を楽しんでいます。皆様の



石高通り(1986年)

ご健勝をお祈り致します。

猪俣 斌(32回生)

①渡波中学校④旅行、野菜作り、ゴルフ⑤日程が折り合わず欠席させていただきます。もの忘れにしながら、目は近く耳は遠くなりながらの日々を過ごしております。

宮川隆雄(32回生)

①矢本中学校②音楽部③介護福祉士④音楽⑤介護の仕事の傍ら、10数年前に結成した歌声サークルにてコーラスを指導。また地域においてもシニアを対象とした「歌声ひろば」を毎土曜日に実施。MC(司会)やリードボーカルを担当しています。今回の総会には11月10日に地域の文化祭に出席するため出席できません。

須田萬里夫(32回生)

①女川第二中学校⑤病気療養中につき欠席させていただきます。

櫻井庸正(32回生)

①涌谷中学校③無職④囲碁・スクエアダンス⑤両足に力が入らぬ等、体力的に問題ありますが老骨にむ

ち打って何とか生活しています。

川名喜久雄(32回生)

①涌谷中学校⑤そこそこの元気にすごしています。

芳沢勇夫(32回生)

①女川第一中学校④俳句⑤歩行困難な為出席できません。

【33回生】

阿部 靖(33回生)

①湊中学校②硬式野球部④音楽鑑賞・読書⑤現在、月に20日間位仕事に出ております。又、当日は勤務になっており、大変申しわけありません。

金子 賛(33回生)

①中津山中学校②陸上競技部⑤自治会役員会のため出席できませんが、総会のご盛会を祈念しています。

熊谷正茂(33回生)

①矢本中学校②卓球部③三井建設(三井住友建設)、ニチイ学館⑤大変残念ですが、当日は小生にとつて大事なセミナー出席のため、欠席致します。特に同期の方々申し訳ありません。73歳で現役を卒業しました。今は娘夫婦、孫四人で元気に過ごしています。又矢本の企業立地推進員等しています。同期他の連絡を楽しみにしています。

栗原光男(33回生)

①石巻中学校③JTB④スポーツ観戦・音楽鑑賞⑤総会当日は仲間との旅行のため参加出来ません。残念です。毎日1000メートル以上をノルマで水泳を、そして週3回の太極拳で元気に過ごしてい

ます。又60年近く好きなラグビーチームの追っ掛けで、ボケる間がありません。

今野秀克(33回生)

①門脇中学校⑤楽しみにしていたのですが、都合により出席できません。頼りにされているうちはハナですね。盛会を祈念します。

橋浦武夫(33回生)

①須江中学校④民謡・尺八⑤民謡尺八でボランティア活動をしています。

島山 勝(33回生)

①住吉中学校⑤都合により出席できませんが、元気に過ごしています。33回生の幹事の皆様には宜しくお伝え下さい。

阿部千春(34回生)

①小竹浜中学校②バレーボール部③住友化学KK④ウオーキング等⑤清掃活動等のボランティアを行っております。皆様方が毎日元気に過ごせますようお願いいたします。

今野勝三(34回生)

①湊中学校⑤都合で出席出来なくなりました。悪しからず。

横山征也(34回生)

①前谷地中学校②新聞部④生涯学習、謡曲、仕舞⑤健康のため朝の参拝・散歩、謡曲(仕舞)

谷 光彦(35回生)

①女川第一中学校②軟式野球部③公務員⑤第27回鰐陵総会に参加しました。盛大に開催されたこと誠におめでとございます。参加して良かったです。女川元気会のメンバー一員として村井会長、三宅、平塚、

千葉の先輩方の御指導をうけておりますが、今回の総会、体調不良により欠席させていただきます。鰐陵会の益々の発展を祈念します。

島山俊昭(35回生)

①住吉中学校⑤残念ですが、欠席させていただきます。盛会を祈念しております。

本木 信(35回生)

①稲井中学校②柔道部⑤後期高齢者の仲間入りをしました。元気にゆつくりと過ごしています。

相良秀夫(36回生)

⑤ご盛会をお祈りいたします。

久道健三(36回生)

①涌谷中学校②物理化学部③公益社団法人整体協会④整体コンサルタント⑤会報誌ありがとうございます。同期が東京にいないので、ほとんど不参加です。整体コンサルタントは15年ほどやっています。治すのではなく治るよう指導するのが役目です。私のブログにてその一端がわかります。「ken3通信」で検索してください。体のことはお気軽に、メールでご相談してください。

阿部 貢(37回生)

①鮎川中学校③銀行員⑤週に3回グランドゴルフで汗をかいています。

伊藤孝道(37回生)

①石巻中学校⑤ご盛会を祈ります。ご健康、ご自愛ください。

遠藤信雄(37回生)

①住吉中学校③建設コンサルタント⑤今、アフリカのブルンジにいます。現役で働いています。11月

9日に帰国しますが、私用が入り残念ですが、欠席します。

木村和史(37回生)

①鳴瀬第一中学校②ボート部⑤盛会を祈ります。

山下政志(37回生)

①門脇中学校②ラグビー部③日本料理板前、古道具屋(現在)④英国古代遺跡めぐり⑤築百年の古民家暮らしも2年目に入っています。「古民家の古道具屋・山下亭」も道楽商売でのんびり暮らしています。田舎で不便ですが、心豊かに暮らしています。東京は外国並みの遠さです。皆様に宜しくお伝え下さい。

【38回生】

渡部正昭(38回生)

①涌谷中学校③会社員(専業商社)④テニス⑤今回どうしても外せない予定と重なりましたので、欠席させていただきます。

荒川憲一(38回生)

①門脇中学校②バレー部↓演劇部③大学教員⑤都内の小さな大学に2時間かけて通勤しています。少しくたびれてきています。

横田幸治(38回生)

①門脇中学校②新聞部③ヤマト運輸のDM便配達を継続中⑤仕事の繁忙期に重なってしまい、残念ながら欠席いたします。ご盛会をお祈りします。

齋藤 優(38回生)

①女川第一中学校②科学部、バスケット部④音楽鑑賞、音楽演奏⑤返事が遅くなり申し訳ありません。みなさまによりしくお伝えください。

館澤 佑 (38 回生)

① 矢本中学校 ② 新聞部 ③ 会社役員
⑤ 海外への出張につき、残念ですが参加できません。皆様によるしくとお伝え願います。

熊谷明敏 (38 回生)

① 浦谷中学校 ② 1 年次のみ剣道部
③ 現在無職、現役時はメーカー営業部門 ⑤ 体調が不調なので今回失礼させていただきます。地元の福祉関係のボランティアのまねごとをやっております。これがけっこう多忙です。

古川伸彦 (38 回生)

① 鮎川中学校 ⑤ 鰐陵会の増々のご発展を祈念いたしております。

長沼金彌 (38 回生)

① 大原中学校 ② サッカー部 ③ 会社役員 ⑤ 参加の予定でしたが、家族の行事が入り出席できません。御盛会をお祈りします。

佐々原二郎 (38 回生)

⑤ 事務局の皆様ご苦労様です。

佐々木正秀 (38 回生)

① 橋浦中学校 ④ 釣り、家庭菜園 ⑤



創立当時の旧石巻中学校校舎(1923年)

趣味を楽しみながら元気に暮らしています。

熊本正義 (38 回生)

① 湊中学校 ③ 会社員 ④ 油絵、ゴルフ ⑤ 現役続行中です。ジム通いと油絵教室でリフレッシュしています。皆様のご健勝を念じています。

佐藤泰助 (39 回生)

① 門脇中学校 ④ 旅行、大相撲観戦、写真撮影 ⑤ 今回も参加できず失礼致します。いつも鰐陵会の活動の活発さに感心しております。退職して5年「百寺巡礼」(五木寛之著)をベースに旅をして来てこの9月でやっと全て巡ることができ、改めて日本の歴史の面白さを感じているところです。皆様のご健勝を祈ります。

高橋三千夫 (39 回生)

① 大原中学校 ③ 証券会社 ④ ゴルフ、テニス ⑤ テニスクラブに所属し、ほぼ毎日テニスで汗を流しております。今回の総会は旅行と重なってしまい出席できず残念です。よろしくお願い致します。

平塚雄治 (39 回生)

① 門脇中学校 ② 野球部 ③ 会社員 ④ 観葉植物をいじる事 ⑤ 現在も現役で事業を行なっています。11月10日は日曜日ですが所用の為欠席させていただきます。盛会をお祈り致しております。

熊谷道夫 (39 回生)

① 石巻中学校 ④ ゴルフ ⑤ いつも欠席ですみません。相変わらず孫と遊んで？おります。

岩崎久仁夫 (40 回生)

① 石巻中学校 ② 人文科学部 ③ 国家公務員 ⑤ 所用が有り欠席致します。40 回生も古希を迎え、また一歩老化的の途、皆さんお元気で過ごされますようお祈りします。

榛澤修三 (40 回生)

① 門脇中学校 ② 新聞部 ⑤ 皆様のご健康とご盛会を祈念いたします。

渡辺総一 (40 回生)

① 石巻中学校 ② 1 年のときバスケット部 ③ 画家、絵画教室教師 ④ 映画 ⑤ 盛会をお祈りいたしております。

高橋国一 (40 回生)

① 渡波中学校 ② バスケット部 ③ サービス業 ④ マージャンゲーム (1 人) ⑤ 毎日、仕事でいい汗をかいて動き回っています。また地域のボランティアもやっています。皆さん元気で過して下さい。

石森雅文 (40 回生)

⑤ 総会の盛会を祈念しております。

茂泉吉則 (42 回生)

① 石巻中学校 ③ 東海大学付属浦安高校 ⑤ 当日は公務の為欠席させていただきます。盛会を祈念いたしております。

田口敏明 (42 回生)

① 住吉中学校 ③ 会社員 ⑤ 出席できず残念です。孫の七五三のため欠席します。来年は出席予定です！

[43 回生] 今藤幸一郎 (43 回生)

① 門脇中学校 ② 人文科学部 ③ 会社員 ④ 特になし ⑤ 元気で。左下肢義足の為、遠出は残念ですが控え

ております。

矢野光雄 (43 回生)

① 矢本第一中学校 ② ラグビー部 ③ 会社員 ⑤ 病氣治療で1月〜3月迄入院していました。治療結果は良く6月には会社に復帰しましたが会合等はいま少し遠慮します。来年は出席出来るよう養生します。

佐々木哲雄 (43 回生)

① 飯野川中学校 ② 卓球部 ③ 塾講師 ④ 尺八 ⑤ 仕事で都合がつかず、同級生に会いたいのですが今回は見合わせます。

三浦節夫 (43 回生)

① 雄勝中学校 ② バスケット部 ③ 大 学教員 ⑤ 当番ですが欠席します。

松吉明彦 (44 回生)

① 門脇中学校 ⑤ わざわざご案内をいただきまして誠に恐縮です。卒業生ではありませんが、東京鰐陵会の増々のご発展をお祈り申し上げます。

日野和徳 (44 回生)

① 稲井中学校 ② 硬式野球部 ③ 三井住友信託銀行 ④ ゴルフ、旅行、写真 ⑤ 本年2月末で三井住友信託銀行グループを退職し6月から鹿児島黒毛和牛関連企業の顧問をしています。

砂越 豊 (44 回生)

① 浦谷中学校 ② 生徒会、剣道部 ③ 歴史ドキュメンタリー映像監督兼プロデューサー、作家 ④ 古代史、縄文研究 ⑤ 昨年、65才で企業再建及び株式上場の仕事を卒業して、全く未経験の歴史ドキュメンタリー映像監督兼プロデュー

サーという仕事をはじめました。日本の古代史、縄文時代などの埋もれた歴史を発掘するドキュメンタリーを目指しています。1 作目は故郷の浦谷町の7000年の歴史を取り上げ、2 作目は「日本刀と東北刀鍛冶」の制作準備中です。

伊藤英二 (45 回生)

① 門脇中学校 ② 吹奏楽部 ③ ジャズ・ボーカリスト ⑤ 音楽教室にて指導に当たっているため、出席できません。皆様にとろぞ宜しくお願いたします。

山崎義二 (旧姓・菅野) (45 回生)

① 鳴瀬第一中学校 ② 陸上部 ③ 小学校教諭。現在は社会教育指導員 ④ 退職者でバンドを作って活動中、ドラム担当 ⑤ 社会教育指導員5年目です。父の四十九日の法要があり実家の東松島、小野へ帰ってます。出席できず残念です。

星 裕亮 (45 回生)

① 石巻中学校 ② 柔道部 ③ 公務員 (埼玉県警察) ⑤ 前職の延長で現在川口オートレース場で私服警戒員(場内取締員)をしています。父(16 回生)が石巻にいた関係で東京鰐陵会には入会していませんので。すみません。

佐藤浩二 (46 回生)

① 豊里中学校 ⑤ 昨年3月末で引退しました。週2回以上の公園ボランティアで、野菜や竹細工等やっています。

伊藤哲郎 (46 回生)

① 湊中学校 ③ 大学職員 ④ 写真・通

訳案内士⑤大変お世話になって
います。当日は私事のため欠席いた
します。今後もよろしく願ひい
たします。

清水石 功(46回生)

①住吉中学校③外食企業・経営企
画④芸術鑑賞⑤17号編集に係わ
った皆様、発行だけでなく経費削
減などお疲れ様です。参考まで弊
社では3年位前から毎月の社内報
を紙から個人へのメール配信にし
ております。

及川重治(47回生)

①女川第一中学校②重量拳部③介
護職⑤年のせい?時々ふと石高
時代を思い出すようになりまし
た。47回生!そろそろ動き始めま
しょうか……?

島山卓弥(47回生)

①湊中学校②卓球部⑤いつも大変
お世話いただきまして、ありがと
うございます。江東区で医院をい
となんでおります。透析の方の血
管治療が主です。法事のため総会
失礼いたします。盛会をお祈りい
たしております。

荒木泰弘(48回生)

①門脇中学校②軟式テニス部③
個人事業主(主に食品の企画・製
造・流通のコンサル)④家庭菜園
ウォーキング⑤本年は都合により
欠席とさせていただきます。ご盛會を
お祈り致します。

平塚 仁(49回生)

①湊中学校②硬式野球部③報道④
テニス・ゴルフ⑤仙台単身赴任中
です。

沼館拓彰(50回生)

①門脇中学校②新聞部⑤毎年発行
される「東京鰐陵」を大変楽しみ
にしております。

高橋英紀(51回生)

①矢本第二中学校②陸上部③会社
員⑤現在、松山に単身赴任中です。
東京鰐陵会の益々の発展を祈念致
しております。

谷口大造(55回生)

①矢本第一中学校②吹奏楽部③建
築家、大学教員⑤義父の法事のた
め、申し訳ありませんが欠席させ
て頂きます。

飯坂正弘(59回生)

①不動堂中学校②柔道部③研究職
員⑤体調不良につき、本年は欠席
いたします。異動がある時は、改
めてご連絡いたします。

佐々木克仁(60回生)

①大川中学校②陸上部③音楽家④
ジョギング、水泳等⑤いつもお世
話になっております。昨年もそう
でしたが、仕事の都合で参加出来
ません。大変残念です。よい総会

第28回 東京鰐陵会総会出席者名簿

村井昭郎(19回生)

加藤直人(24回生)

①旧制石巻中学校②音楽③地方公
務員④音楽

佐藤允俊(24回生)

佐々木俊文(25回生)

①住吉中学校②新聞・放送③会社

になりますよう祈念致します。

渡邊成威(64回生)

①石巻中学校②吹奏楽部③オペラ
歌手(東京二期会)④料理⑤役員
の皆様ありがとうございます。残
念ながら、二期会公演オペレッタ
「天国と地獄」の稽古で出席かな
いませぬ。(公演は11月22日&24
日、日生劇場です)来年こそは出
席し、皆様にお目に掛かりたく存
じます。ご盛會をお祈り申し上げ
ます。

大和優雅(65回生)

①篁岳中学校②文芸部③映画監督
⑤11月30日、12月1日の両日、石
巻市内で開催されるいしのまき演
劇祭において、作演出作品「最後
のラーメン」を上演いたします。

木村祐介(75回生)

①湊中学校②柔道部③電材商社・
営業④Jリーグ観戦⑤総会のご
案内ありがとうございます。公
私ともにドタバタが続いており、
落ち着いたら石巻に帰省したいと
思います。

阿部尚之(27回生)

稲葉 實(27回生)

①江島中学校

上原藤三(27回生)

桑島 進(27回生)

菅井武彦(27回生)

平塚久義(27回生)

平山貞夫(27回生)

三宅 哲(27回生)

小野寺康充(28回生)

成澤 良(28回生)

今井寅三郎(29回生)

岩淵 茂(29回生)

木村莞爾(29回生)

今野勝幸(29回生)

千葉弘二(29回生)

山本久敬(29回生)

木村長人(30回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

ゴルフ、楽器演奏
佐々木 努(30回生)

①女川第一中学校②化学・テニス
③科学工業④古文書鑑賞、公害防
止管理者(水質第一種)

首藤光春(30回生)

蜂谷国彦(30回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)

奥山興悦(31回生)

桑島 馨(31回生)

手代木 扶(32回生)

阿部倫夫(33回生)

木村貴則(33回生)

堀内文夫(33回生)

手代木 扶(32回生)



図書館とプール(1994年)

(次ページへ続く)



旧講堂・旧図書館(2006年)[1926年~2006年]

- 明石公夫(34回生)
 ①中津山中学校②柔道③電気通信(携帯)④スキー、スノボ、山岳自転車、ハイキング、カラオケ等
 内崎光劼(34回生)
 ①大塩中学校②軟式野球③シルバー人材センターでの仕事④ゴルフ、読書
 岡部勇太(34回生)
 ①住吉中学校
 久保文征(34回生)
 ①住吉中学校②陸上・化学
 佐藤洋一(34回生)
 ①門脇中学校③商社マン
 須田紘一(34回生)
 ①女川第一中学校③損保業界④スポーツ
 武山佑三(34回生)
 ①住吉中学校④囲碁、ゴルフ
 千葉保宗(34回生)
 ①住吉中学校③電機機器
 阿部禎一(36回生)
 ①住吉中学校③税理士
 阿部長光(36回生)
 ①大川中学校

- 菊地 潔(36回生)
 ①湊中学校②テニス③電気設備
 三浦 亨(36回生)
 ①宮城野中学校②軟テニス③振付
 安住知彦(37回生)
 ①大原中学校②書道③歯科医④テニス、囲碁
 遠藤順政(37回生)
 ①渡波中学校
 大森雅司(37回生)
 ①住吉中学校
 木田 洋(37回生)
 ①矢本中学校
 今野和明(37回生)
 ①大塩中学校④酒、ゴルフ、競馬
 西條紀郎(37回生)
 ①石巻中学校②卓球③証券会社④ゴルフ
 境田憲男(37回生)
 ①湊中学校②ラグビー③港運関係(海運コンテナ)④ダンス、家庭菜園、運動(ゴルフ等)
 榊 勝一郎(37回生)
 ①大川中学校②軟テニス③コンサルタント④ハイキング(軽登山)
 佐藤 悠(37回生)
 ①住吉中学校②剣道③放送関係④読書、ゴルフ
 砂金正郎(37回生)
 ①浦谷中学校
 高橋佐千郎(37回生)
 ①飯野川中学校②生物④バラ園芸
 高橋光正(37回生)
 ①石巻中学校③広告業④ゴルフ、釣り
 丹野静也(37回生)
 ①門脇中学校②柔道③商社

- 千葉 徹(37回生)
 ①飯野川中学校③会社員
 星 千秋(37回生)
 ①蛇田中学校②生物
 三浦若男(37回生)
 ①矢本第二中学校②人文科学③新聞記者
 村井善郎(37回生)
 ①女川第一中学校②演劇③医師④家庭菜園
 安住 豊(38回生)
 ①女川第一中学校②化学④スキー、絵画
 阿部盛行(38回生)
 ①女川第一中学校②柔道
 ④楊名時太極拳中伝
 和泉耕二(38回生)
 ①住吉中学校②音楽
 熊谷勝義(38回生)
 ①湊中学校③社労士
 小池 泰(38回生)
 ①中津山中学校②ボート
 小山慶孝(38回生)
 ①石巻中学校②人文科学
 ③医療機器(精密機械)(株医器研代表取締役社長(元))
 早川 誠(38回生)
 ①門脇中学校②吹奏楽④囲碁
 今野雅隆(39回生)
 ①石巻中学校③地方公務員
 阿部義治(40回生)
 ①住吉中学校②生物③自営(内部監査受託)④登山
 加藤友成(40回生)
 ①石巻中学校②吹奏楽③事務機器関係④ウォーキング、ジム等

- 木村道夫(40回生)
 ①渡波中学校②柔道③会社員
 斎藤紀夫(40回生)
 ①門脇中学校②軟テニス③アルバイト社員
 瀬川 徹(40回生)
 ①門脇中学校②生徒会③弁護士④テニス、ゴルフ
 高橋憲司(40回生)
 ①住吉中学校②サッカー④DIY、レザークラフト
 佐々木 清(41回生)
 ①鹿又中学校②剣道④旅行・読書
 佐藤幸男(41回生)
 ①石巻中学校②ペン③鉄道業・財務④旅行・音楽
 菅原新也(41回生)
 ①麓岳中学校②水泳③教諭
 高橋兵一(41回生)
 ①飯野川中学校
 沼倉寿男(41回生)
 ①女川第一中学校②野球③地方公務員④スポーツ全般
 宮増秀一(41回生)
 ①矢本第一中学校
 山形明夫(41回生)
 ①飯野川中学校②卓球③ホーチキ(株)代表取締役社長
 伊藤輝昭(42回生)
 ①渡波中学校
 鈴木卓郎(42回生)
 ①大川中学校②剣道③会社員④剣道
 新田輝夫(42回生)
 ①石巻中学校②陸上③元城南信用金庫役員④日本画鑑賞
 村上圭司(42回生)
 ①住吉中学校

- ③会社員(総合電機メーカー)
 伊藤純一(43回生)
 ①飯野川中学校②軟テニス③教育行政④ソフトテニス
 小田島孝好(43回生)
 ①石巻中学校②柔道③コンサルタント/現役・電機産業(情報システム)開発
 佐藤休三(43回生)
 ①飯野川中学校②柔道③非常勤講師④山歩き
 佐藤雅洋(43回生)
 ①湊中学校②卓球③会社員④アルトサククス、卓球、旅行
 鈴木速人(43回生)
 ①鮎川中学校②軟テニス③公務員
 成澤貴義(43回生)
 ①雄勝中学校
 吉田祐一(43回生)
 ①東浜中学校②軟テニス③航空管制官(65歳まで)④能楽師(30年以上)
 若山栄作(43回生)
 ①中津山中学校②重量挙げ③えかき④マラソン大会参加
 遠藤洋治(43回生)
 ①麓岳中学校③無職④オペラ鑑賞
 和賀井啓之(43回生) ※石巻から参加
 ①住吉中学校
 青木良有(44回生)
 ①雄勝中学校②硬式野球③鎌倉ガイト協会員④落語
 岩崎由次(44回生)
 ①小竹中学校
 尾口仁志(44回生)
 ①石巻中学校②陸上③歯科医師
 ④マンドリン演奏

- 半澤竹彦(44回生)
- ①大原中学校②軟テニス③通信
- ④ソフトテニス
- 田 昭治(44回生)
- ①豊里中学校②バスケット③会社役員
- 平山 博(44回生)
- ①雄勝中学校②陸上③会社役員
- 大坂昌道(45回生)
- ①住吉中学校②陸上③会社員④天体写真撮影
- 新田裕史(45回生)
- ①石巻中学校③国立環境研究所フェロー
- 高橋健樹(46回生)
- ①住吉中学校②物理・化学・剣道
- ③レコーディングエンジニア
- (奥様同伴で出席した高橋健樹様は令和2年5月26日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。)
- 高橋利佳(高橋健樹氏夫人)
- 尾口英昭(47回生)
- ①石巻中学校②陸上
- 鈴木邦寿(47回生)
- ①住吉中学校②バスケット
- 千葉晃司(47回生)
- ①門脇中学校②重量挙げ③自動車メーカー・エンジニア④サッカー・ラグビー観戦
- 千葉 太(47回生)
- ①明星中学校②ラグビー・剣道③教育サービス④国内旅行・海外旅行
- 星野祐一(47回生)
- ①石巻中学校②新聞③会社役員
- ④ゴルフ、旅行等
- 遠藤豊明(48回生)
- ①鮎川中学校②ワンゲル③不動産

- 業④ゴルフ、映画
- 石川洋二(49回生)
- ①住吉中学校②ラグビー③物流
- 「内外日東(株)」(スポーツ全般)
- 佐々木邦夫(49回生)
- ①
- 本庄雅之(50回生)
- ①門脇中学校②バスケット③新聞記者(東京中日スポーツ)
- 佐澤 信(56回生)
- ①広瀬中学校②ラグビー③会社役員
- 星野知倫(56回生)
- ①石巻中学校②ラグビー③自営
- 佐藤昌克(59回生)
- ①住吉中学校②テニス③金融④釣り
- 成家新一(62回生)
- ①石巻中学校②卓球③障害福祉サービス④旅行
- 植村佳樹(65回生)
- ①涌谷中学校②水泳③会社員④スノーボード
- 【御来賓者】
- 石巻高等学校校長 神成浩志 先生
- 鰐陵同窓会(本部) 会長 青木利光様(43回生)
- 事務局長 二階堂守宏様(49回生)
- 【講演者】
- 関東ラグビー協会理事 伊藤 隆様(46回生)
- 《挿絵について》
- 挿絵は「宮城県石巻高等学校創立90周年記念(2014年)」の絵がきとして発行されました。「故・浅井元義先生(28回生・元石巻女子高校教諭)」の作品で、掲載にあたり奥様の承諾をいただきました。

第28回総会運営資金援助協力者名簿(2020.4.30現在)

回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名	回生	氏名
20	安住 重一	29	高橋伝四郎	33	山内 明	40	高橋 国一
21	佐々木紀雄	29	千葉 慶胤	34	阿部 千春	40	田村 隆
22	阿部 彦八	29	守屋 晃治	34	荒木 正司	40	橋澤 修三
22	鈴木 善治	30	小島 守夫	34	金澤 洋	40	渡辺 総一
22	吉田 正文	30	今野 末治	34	西條 修	41	遠藤 栄松
23	荒川 竹雄	30	鈴木 賀夫	34	佐々木孝三	41	小関 真悦
23	佐々木吉男	30	高橋 勝弥	34	横山 征也	41	斉藤 巧
23	野中 浩	30	高橋 洋	35	遠藤 信行	42	伊藤 信一
24	石川 正雄	30	田中栄太郎	35	谷 光彦	42	佐久間克彦
24	伊藤 薫	30	寺澤 正興	35	畠山 俊昭	42	土屋 清治
24	桑田 信治	30	畠山 尚	36	大森 彬	43	今藤幸一郎
24	古座 明郎	30	半澤 哲志	36	相良 秀夫	43	鈴木 実
24	高山 研造	30	松田 勝治	36	高橋 賢二	44	日野 和徳
24	玉河 信也	30	渡辺 武	36	久道 健三	44	松野 公
24	手塚 康二	31	阿部 弘	36	藤 俊治	45	伊藤 英二
25	青沼 義信	31	飯田 勝紀	37	伊藤 孝道	45	岡田 文彦
25	阿部 剛	31	伊藤 克夫	37	木村 和史	46	阿部 順市
25	高橋 清記	31	北川 洋三	38	荒川 憲一	46	伊藤 哲郎
25	武山 勝	31	木村 照夫	38	大林 正人	46	佐藤 賢一
26	菊地 上	31	櫻井 勝夫	38	熊本 正義	46	佐藤 浩二
26	崎野 隆三	31	遠山日出夫	38	佐々木正秀	46	清水石 功
26	庄子 幸光	31	松本 喜男	38	佐々木原二郎	46	伏見 洋之
26	芳賀亥八男	32	阿部 隆雄	38	丁子 幹雄	47	及川 重治
26	三宅 宗謙	32	猪俣 斌	38	渡部 正昭	47	佐藤 敦彦
27	石田 三成	32	角田 守弘	39	岩崎 宏幸	47	畠山 卓弥
27	大山 重彦	32	加藤 憲一	39	氏家 一行	48	荒木 泰弘
27	奥田 貞幸	32	川名喜久雄	39	及川 舜	48	植松 正彦
27	佐々木忠夫	32	後藤 嘉巳	39	熊谷 道夫	48	加藤 博
27	庄司 貞義	32	櫻井 庸正	39	佐々木俊敦	48	木村 成一
27	徳江 明	32	宮川 隆雄	39	佐藤 泰助	48	清水 治彦
27	新田 敏	33	金子 賛	39	手塚 雄治	48	鈴木 雅芳
27	船田 清孝	33	木村日出夫	40	阿部 秀二	52	高橋 章建
27	吉田 貢	33	熊谷 正茂	40	石森 雅文	52	三浦 得雄
28	木村 誠厚	33	栗原 光男	40	伊勢 邦夫	58	後藤 眞毅
29	岡田 正	33	今野 秀克	40	岩崎久仁夫	60	佐々木克仁
29	菊地 靖雄	33	橋浦 武夫	40	佐々木清光	64	渡邊 公威
29	鈴木 勲	33	畠山 勝	40	佐々木 進	75	木村 祐介

合計148名/415,000円

計報

前回発行以降に連絡及び今回の総会開催案内の返信等で、下記のご逝去の報をお受けしました。心からご冥福をお祈り申し上げます。鰐陵回生順、年月日は、お受けした返信等によるご逝去の年月日です。

記

- ・11回生 中村勝次郎様 平成30年5月8日
- ・19回生 菅原 潔様 令和元年9月
- ・19回生 岩淵 輝夫様 令和元年9月18日
- ・21回生 石井 勉様 令和元年9月2日
- ・22回生 日野 淳一様 平成28年
- ・22回生 松川昭太郎様 平成30年1月
- ・23回生 守谷 栄一様 平成31年4月14日
- ・24回生 佐々木 毅様 平成28年3月
- ・26回生 鈴木 春雄様 令和元年
- ・26回生 西島羽 豊様 平成30年5月14日
- ・27回生 田村 修様 令和元年11月30日
- ・29回生 境 一成様 平成29年8月23日
- ・30回生 小島 守夫様 令和2年2月12日
- ・31回生 阿部 行様 平成30年3月2日
- ・31回生 阿部 正彦様 平成13年
- ・32回生 勝又 勝様 令和元年7月31日
- ・33回生 佐藤 征様 平成28年
- ・34回生 金子 努様 平成31年2月15日
- ・34回生 千葉 英雄様 平成24年
- ・35回生 松本 勲様 平成31年2月24日
- ・36回生 斎藤 信治様 平成29年12月
- ・37回生 安倍 隆夫様 平成28年12月
- ・42回生 武山 信治様 平成29年11月
- ・46回生 高橋 健樹様 令和2年5月26日

(2020.6.30現在)

東京鰐陵会役員名簿(敬称略)

役職	回生	氏名	役職	回生	氏名
参与	29	千葉 弘二	理事	34	須田 統一
参与	34	千葉 保宗	理事	34	武山 祐三
監事	33	木村 貴則	理事	35	平塚 征一
監事	38	熊谷 勝義	理事	36	阿部 長光
会長	37	佐藤 悠	理事	36	菊地 潔
副会長	37	丹野 静也	理事	37	村井 善郎
副会長	37	境田 憲男	理事	38	安住 豊
事務局長	40	加藤 友成	理事	38	和泉 耕二
事務局次長	40	瀬川 徹	理事	38	丁子 幹雄
事務局次長(会計担当)	42	新田 輝夫	理事	38	早川 誠
事務局次長(会計担当)	43	伊藤 純一	理事	40	加藤 友成
理事	22	鈴木 善治	理事	40	阿部 義治
理事	25	阿部 剛	理事	40	斎藤 紀夫
理事	25	中里祐二郎	理事	41	高橋 兵一
理事	25	武山 勝	理事	41	沼倉 寿男
理事	27	平塚 久義	理事	41	山形 明夫
理事	27	三宅 哲	理事	42	茂泉 吉則
理事	28	成澤 良	理事	42	鈴木 卓郎
理事	29	今井寅三郎	理事	42	新田 輝夫
理事	29	岩渕 茂	理事	42	田口 敏明
理事	29	今野 勝幸	理事	43	伊藤 純一
理事	29	松川 文隆	理事	43	成澤 貴義
理事	30	木村 長人	理事	43	吉田 祐一
理事	30	首藤 光春	理事	44	半澤 竹彦
理事	30	鈴木 賀夫	理事	44	尾口 仁志
理事	30	蜂谷 國彦	理事	48	鈴木 雅芳
理事	31	奥山 興悦	理事	49	平塚 仁
理事	31	桑島 馨	理事	52	大内 浩
理事	32	小野寺義昭	理事	55	谷口 大造
理事	32	手代木 扶	理事	56	亀山 光浩
理事	33	熊谷 正茂	理事	56	星野 知倫
理事	33	堀内 文夫	理事	58	浅野 剛
理事	34	久保 文征	理事	59	佐藤 昌克
理事	34	佐藤 洋一	理事	62	成家 新一

2019年度 東京鰐陵会 収支報告書
自 2018年10月1日 ~ 至 2019年9月30日

東京鰐陵会 会長 佐藤 悠
会計担当 新田 輝夫

科目	収入金額(円)	摘要
前期繰越金	614,219	2018年10月1日現在繰越金
一般 一 協力金	36,112	理事からの寄付金等
一般 二 運営資金援助	485,000	会員からの寄付金(285名=114+171名)
収入 雑収入	4	郵貯、銀行利子
収入 小計	521,116	
総会 入 会費	1,044,000	116名(1万円のうち9千円 114名、9千円 2名)
収入 雑収入	37,000	本部同窓会会長・校長先生等4名
収入 小計	1,081,000	
収入合計	2,216,335	

科目	支出金額(円)	摘要
一般 一 会議費	27,280	会議室使用料
一般 二 「東京鰐陵」発行費	164,144	1,500部印刷(デザイン料、諸経費込み)
支出 三 ホームページ維持費	17,491	サーバー利用料、ドメイン名更新料
支出 四 交通費、会費	98,430	鰐陵本部総会旅費・会費、本部会報広告費
支出 五 通信費、雑費	108,172	封筒、インク代、案内状発送費等
支出 小計	415,517	(一般収支差額 105,599円)
総会 支 宴会費	909,158	宴会会場費・飲食代、講演者お車代等
支 準備費用	96,067	準備費用
支 関係事務・雑費	87,108	米寿・喜寿祝い品、通信費等
支出 小計	1,092,333	(総会収支差額 △11,333円)
支出合計	1,507,850	

収支の差額	708,485	次期への繰越金
-------	---------	---------

現金	105,415
郵便貯金	603,070
銀行預金	0

上記監査の結果、正確・適正に処理されていることを認めます。

2019年10月4日
監事 木村 貴則 印
監事 堀内 文夫 印

発行●東京鰐陵会(石巻高等学校同窓会東京支部)
会長 佐藤 悠
発行所●東京鰐陵会事務所(新田 輝夫 方)
〒115-0043 東京都北区神谷1-3-5-304
TEL & FAX : 03-3927-8856
編集●東京鰐陵編集委員会
【振込み口座】●郵便振替口座番号 : 00180-4-350194
加入者名 : 東京鰐陵会

「運営費・通信代」のお願い

東京鰐陵会の活動は、総会の時に集める運営費と会報誌の通信代、それに寄付で賄われています。それ以外の収入は一切ありません。

総会中止という事態の中で、資金が思うように集まらないと会の運営は窮地に陥ります。

「一口千円といわず二口でも、何口でも」

是非、特段のご協力をお願い申し上げます。

【編集後記】
2020年度の東京鰐陵会総会が中止されました。新型コロナウイルスの感染拡大という状況のもと、開催の場合と中止の場合の2本立てで原稿を用意し、総会開催の可否について検討を重ねました。

そして、3密を避ける困難さに加えて、会場になっていた「東海大学校友会館」が7月末で閉館という事態も重なり、「総会の開催は困難」という結論になりました。

編集は、佐藤悠会長(37回生)、丹野静也副会長(37回生)、境田憲男副会長(37回生)、加藤友成事務局長(40回生)、新田輝夫事務局長(42回生)、伊藤純一事務局次長(43回生)、尾口仁志理事(44回生)の7人が担当しました。

WEB編集会議やネットの活用など、コロナ禍の中ならではの工夫を重ねたほか、編集業務に精通している「三宅哲理事(27回生)」や運営委員の協力も得ながら校正作業に取り組み、発行に漕ぎつけることができました。

ラグビー日本大会に因んでお願いした関東ラグビー協会理事の伊藤隆氏(46回生)の講演「ラグビー概況」をはじめ、今期までの2回の役職から退いた第6代会長木村亮爾氏(29回生)の「会長時代の感謝」、今野勝幸理事(29回生)の「関東三十六不動霊場の巡拝結願成就」、38回生の担任を務めた三橋和正先生の「卒寿の祝いに招かれて」など、多彩な原稿が集まりました。

また、先輩と若手会員とを結ぶ手がかりとして今回から、総会欠席者からの近況報告などを記載した「短信」欄と総会出席者の名簿に、出身中学校や所属クラブ、現役時代の仕事などの情報を付け加え、内容の充実を図りました。

今回の会報誌19号は、今年の総会が中止になったことで総会報告や会場写真、講演などの定番原稿が無くなります。そこで、会員の近況報告や特別寄稿など、これまででない原稿を幅広く集め、新たな誌面づくりを行う必要があると考えています。

来年の総会は11月の第2日曜日、11月14日の予定です。新型コロナウイルスの感染が、どのような状況になっているかわかりませんが、「安心・安全な新会場」で同期や部活の仲間、そして、出身中学の先輩・後輩など多くの会員が集い、交流を深めることが出来るよう願って止みません。(編集委員会)